

JR姫新線の「姫路」駅と「上月」駅の間の沿線自治体や県などで構成される姫新線利用促進・活性化同盟会では、ファンクラブを立ち上げ、沿線で開催されるイベント情報をSNSのXで発信しています。アカウントをフォローするだけで、誰でも会員になれます。入会費、年会費共に無料で、Xで案内する対象イベントに参加すると、オリジナル缶バッジなどのグッズがもらえます。ぜひ、姫新線に乗って“推し”の存続に協力を。（姫新線利用促進・活性化同盟会）





詳しくはこちら

駅名入りの缶バッジ。イベントによりもらえる種類は異なります。

📍西播磨県民局総務防災課
☎0791-58-2113 📠0791-58-2328

ファンクラブに入り
姫新線の推し活を

8月が旬の **たじまピーマン**

但馬地域は関西最大級の夏秋ピーマンの産地です。豊岡市但東町を中心に但馬全域で11万7,000本超を栽培しており、その規模は年々拡大しています。夜涼しく、作物がゆっくり休める気候が適しているのでしょう。濃い緑と柔らかな果肉が特長で、ピーマン特有のえぐみが少ないため子どももチャレンジしやすい味わいです。収穫時期は6月中旬から11月下旬にかけてと長く、8月は最もおいしい時季。グリルで丸ごと焼いてから種を取り出し、そのまま、またはしょうゆを付けて食べるのが一押しです。（JAたじまピーマン協議会会長 霜倉和典さん）

📍JAたじま特産課
☎0796-24-6672 📠0796-24-6702



1 JAたじまのファーマーズマーケット「たじまんま」のほか、関西の量販店などで販売。2 一つずつ手作業で収穫。霜倉さんが所属する農業生産法人の（有）あしたでは、台車にパラソルを付け、直射日光から品質と作業者を守っています。

丹波市にある旧朝倉家住宅は約300年前に建てられた民家です。部屋が3つある三間取りと呼ばれる形式で、蚕を育てていた天井裏には換気や明かり取りの窓が付いています。普段は申し込みがあった時のみ開けていますが、11月までは月に1回、第2土曜の10時から12時まで公開し、併せてワークショップを実施します。申し込みや参加費は不要ですので気軽に訪れ、当時の養蚕農家の暮らしに触れてください。（丹波市教育委員会学芸員 玉出隼人さん）



内部には織り機など古い民具も。



江戸中期の三間取り養蚕農家の特徴を残す貴重な建物として、県の文化財に指定されています。

8月・9月のワークショップ



「糸つむぎスピンドルで紡ぐ」
📅8月9日🕒10時～12時



「繭玉起き上がりこぶし作り」
📅9月13日🕒10時～12時

旧朝倉家住宅
📍丹波市青垣町佐治114
📍丹波市教育委員会社会教育・文化財課
☎0795-70-0819 📠0795-70-0814



詳しくはこちら

江戸中期築の **養蚕農家** を
月に1回特別公開中

世界の **珍しい植物** を大温室で

今春リニューアルしたあわじグリーン館は、最古の植物、ジュラシックツリーなど世界各地の植物を楽しめる日本最大級の温室施設です。常時600種以上、約5,500株を植栽展示しており、9月28日📅までは特別展「サマーガーデン～植物の驚くべき生存戦略～」を開催中。「植物の共進化」をテーマに、虫を捕らえる食虫植物、乾燥に耐える多肉植物など、植物たちの驚異的な適応能力と進化のドラマを紹介しています。（あわじグリーン館）



流木アート「ジャンピング・ガゼル」。彫刻家、ジェームズ・ドラ・ウェブさんの作品の常設展示は国内初。

あわじグリーン館
📍淡路市夢舞台4 ☎0799-74-1200 📠0799-74-1201
🎫一般750円、70歳以上370円、高校生以下無料

詳しくはこちら

